

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県 西宮市

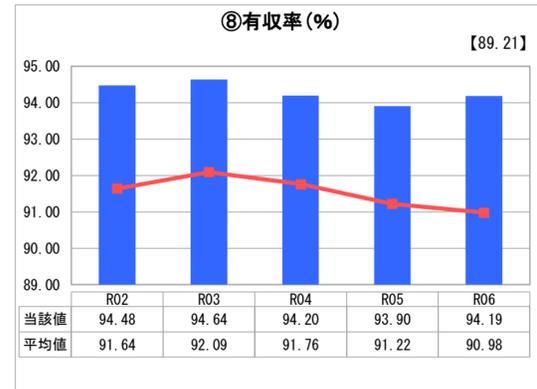
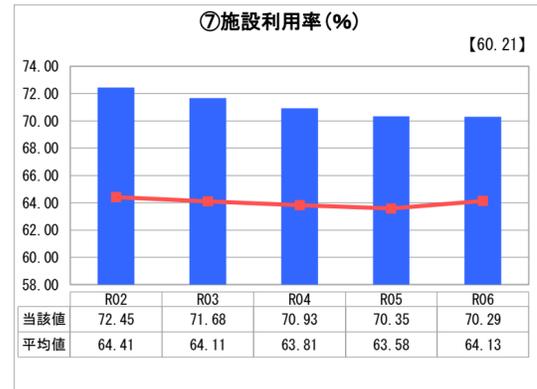
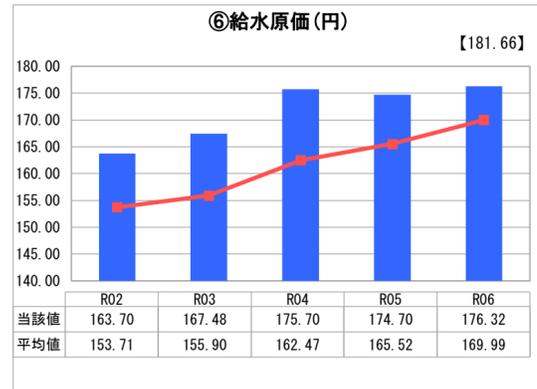
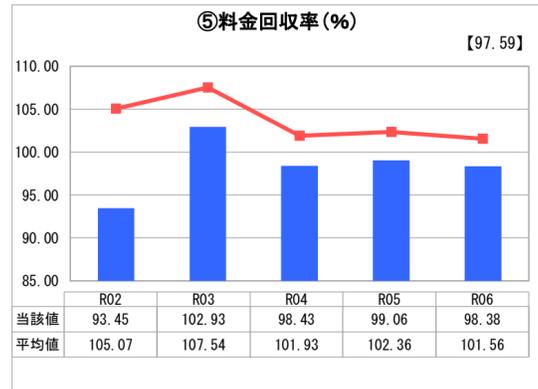
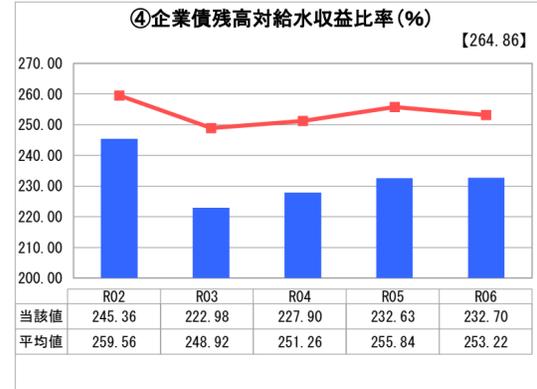
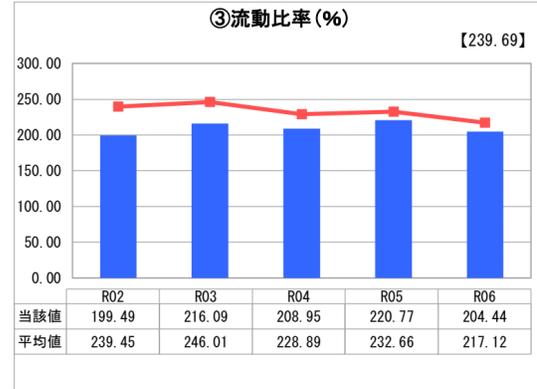
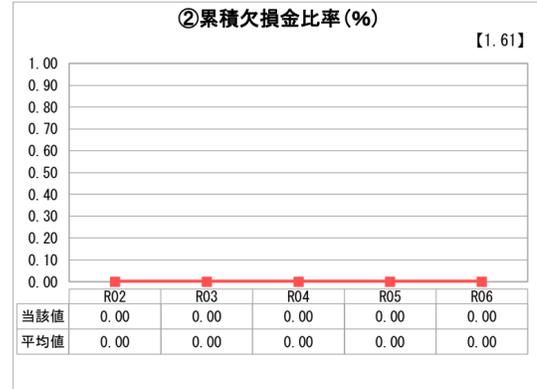
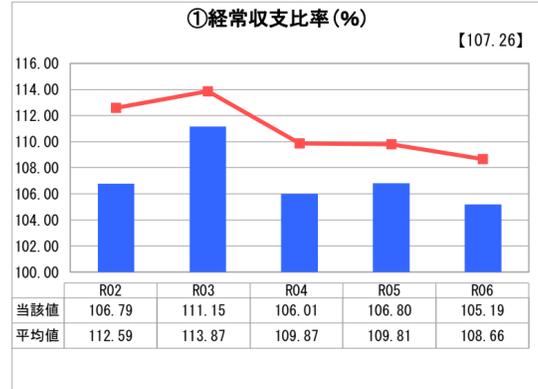
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	63.72	99.98	2,777	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
480,818	99.95	4,810.59
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
479,712	73.49	6,527.58

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

給水収益は微増となったが分担金等の減により、事業収益が減少し、事業費用は増加した。これにより①経常収支比率及び⑤料金回収率は下落した。また、③流動比率も下落した。これらの数値は平均値を下回っている状態が続いている。事業費用の増加や有収水量の減少が影響し⑥給水原価が上昇しており、平均値を上回っている。

④企業債残高対給水収益比率は、平均値を下回っているが、企業債残高の増及び給水収益の減により微増傾向にある。

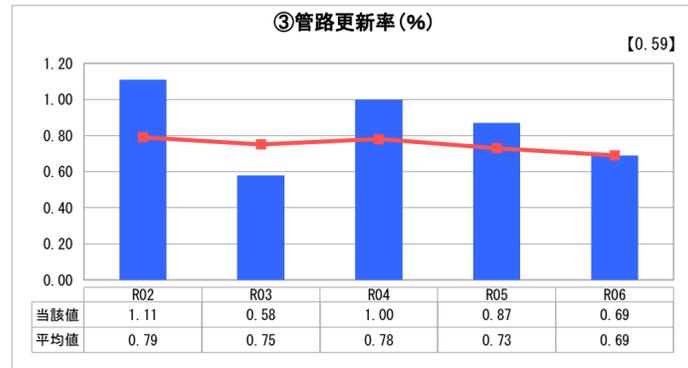
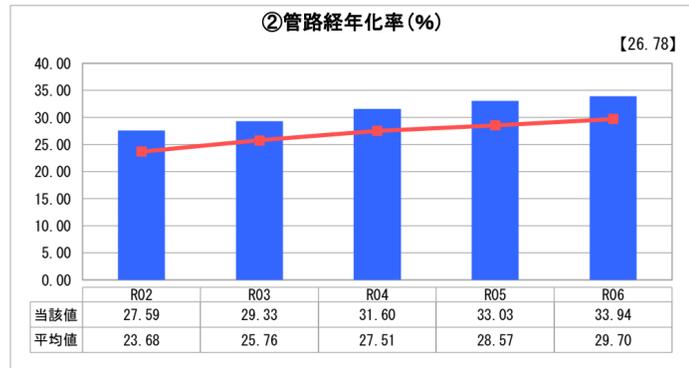
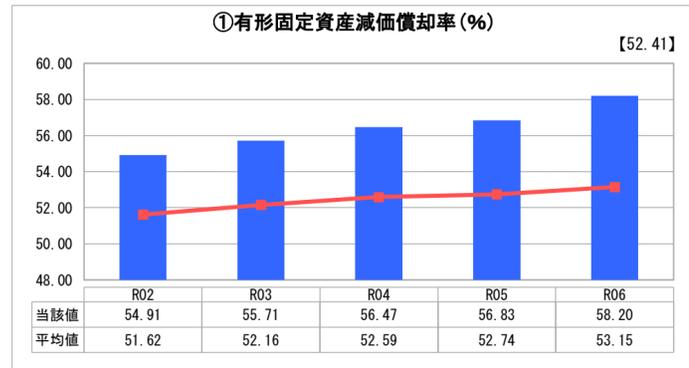
⑦施設利用率は、受水が主な水源となっていること、また浄水場の統廃合により施設能力の適正化を図ってきたことから、平均値を上回っている。なお、⑧有収率についても、管路の維持に努めた結果、平均値を上回っており、施設の効率性は良好といえる。

### 2. 老朽化の状況について

本市の配水管の約70%が昭和45年から平成11年の30年間で布設されたものであるため、法定耐用年数を用いた②管路経年化率は、令和22年まで増加していく見込みである。

今後は、老朽化による管路破損事故等を未然に防ぐとともに、災害に強く早期復旧が可能な水道システムの構築を目指し、重要度・優先度を考慮した施設更新を着実に進めていく必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

給水人口の減少に伴い今後も水需要の減少は続く見込みであり、給水収益が減少していく中で、老朽化が進む施設の更新・耐震化を着実に進めていかなければならない。また物価高騰の影響により、財政状況は一段と厳しくなると見込んでいる。

今後は、経営戦略で掲げた事業等の着実な推進を図るとともに、安定給水を持續できる健全な財政運営を継続するため、さらなる費用の削減や料金制度の見直しを含めた経営基盤の強化に繋がる方策に取り組む。